8

**見附市報道資料**
**令和 6 年 5 月 24 日**

# 「見附市下水道事業経営戦略改定（案）」の意見を募集します

見附市下水道事業経営戦略は、平成 30 年 3 月の策定から 5 年が経過しました。人口減少に伴う使用料収入の減少や将来の施設更新需要への対応の課題が顕著になっており、将来にわたって安定的に下水道事業を継続していくためには、投資・財政計画の見直しが必要であることから、R6 年度から R15 年度までの 10 年間を計画期間として、経営戦略（案）を作成しました。

このたび、経営戦略改定（案）について、市民の皆さんから意見を広く募集します。

## 1　下水道経営戦略改定（案）の概要

### （1）下水道事業の現状予測に基づく今後 10 年間の課題

現在、収益状況が厳しく、R4 決算で累積欠損金 90,251 千円を計上しています。包括的民間委託による民間活力の活用と不明水対策を継続し、また、R11 年度までに農業集落排水の公共下水道への統合を進めることで支出削減に取組みますが、昨今の物価上昇に伴う経費の上昇や将来の下水道施設の更新、長寿命化対策による各経費の増加が見込まれ、将来の経営状況の悪化が予想されます。

| | |
|---|---|
| ① 使用料収入の減少 | R15 年度までに約 50,000 千円の減少 |
| ② 基準外繰入金の発生 | 毎年度 約 70,000 千円が発生 |
| ③ 経費回収率の低下 | R15 年度までに 7 ポイント低下し 88.47％となる |

### （2）経営目標

| | |
|---|---|
| ① 収支の黒字化 | ② 累積欠損金の解消 |
| ③ 基準外繰入金の削減 | ④ 計画最終年度に経費回収率 100％以上の達成 |

### （3）経営状況改善に向けたシミュレーション

支出削減の取組みのほか、下水道接続率向上による収入増加の取組みだけでは限界があるため、使用料の改定が必要です。以下の 2 つのパターンで試算しました。

**パターン①**

【使用料収入を確保するとともに、基準外繰入金の 1/2 以上を削減するよう使用料を改定】

R8 年　1 ㎥あたり 160 円→180 円に改定（改定率 12.5％）、基準外繰入金を 50,000 千円削減

**⇒　収支は黒字化し、累積欠損金も解消されますが、基準外繰入金の発生は解消されず、また、経費回収率は計画最終年度の R15 は 98.82％で 100％には至らない。**

**パターン②**

【①を踏まえ、計画最終年度に基準外繰入金の全てを削減及び経費回収率が 100％以上となるようにし、使用料の急激な上昇を避けるため複数回に分けて段階的に使用料を改定】

R8　1 ㎥あたり 160 円→170 円に改定（改定率 6.3％）、基準外繰入金を 25,000 千円削減

R10　1 ㎥あたり 170 円→180 円に改定（改定率 5.9％）、基準外繰入金を 25,000 千円削減

R12　1 ㎥あたり 180 円→190 円に改定（改定率 5.6％）、基準外繰入金を 20,000 千円削減

⇒ **収支は黒字化し、累積欠損金も解消されると同時に、基準外繰入金は全額を削減可能。また、経費回収率は計画最終年度の R15 は 100%以上を達成する。**

“経営目標の達成のためには、パターン②による使用料改定が必要”

## 2 パブリックコメント

・募集期間：令和 6 年 5 月 22 日（水）～6 月 20 日（木）
・資料の閲覧方法　：市役所２階上下水道局、ネーブルみつけ、図書館、各公民館に経営戦略改定案を設置するとともにホームページに掲載
・提出方法・提出先：任意様式に意見を記入し、市役所２階上下水道局へ提出するか、郵送、ファックス、電子メールにて提出
※電話等による口頭での意見は受け付けません。
・いただいた意見とそれに対する市の考え方については後日公表します。

**問** 上下水道局　経営係　☎0258-62-1700（内線 207）